

平成 18 年 6 月 21 日

J A R I P 会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山晃・福田敬・臼杵政治

J A R I P 平成 18 年度第 2 回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（J A R I P）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。平成 18 年度第 2 回の研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、（社）日本年金数理人会のご協力を得て「Liability Driven Investment の展開と日本の企業年金における応用可能性」のテーマでパネルディスカッションを開催します。

イギリス・オランダなど欧州諸国の年金基金では、Liability Driven Investment（債務に基づく資産運用）がこの 1・2 年非常に脚光を浴びています。そこで今回は LDI を取り上げ、コンサルタントや投資銀行、シンクタンクの方々をお招きしてパネルディスカッションにより議論を進め、理解を深めたいと思います。冒頭に 50 分～1 時間程度参加者から報告をいただき、その後さらに 1 時間程度パネラー間での議論を進め、その後会員各位との質疑応答を行いたいと考えています。

報告内容（予定）

1. 前半 < 報告 > LDI の背景と日本への応用可能性について

報告者（アルファベット順）

ワトソン・ワイアット株式会社	コンサルタント	岡田章昌氏
リーマン・ブラザーズ証券会社	債券調査本部	多湖 理氏
（まとめ）ニッセイ基礎研究所	金融研究部門	臼杵政治氏

後半 < パネルディスカッション >

参加者（アルファベット順）

ワトソン・ワイアット株式会社	コンサルタント	岡田章昌氏
野村総合研究所	金融 IT イノベーション研究部	末吉英範氏
リーマン・ブラザーズ証券会社	債券調査本部	多湖 理氏
ニッセイ基礎研究所	金融研究部門	臼杵政治氏（司会）

- 1. 2 を通じた報告及び討論のトピックス -

- 1) 海外における L D I の普及状況 オランダ他大陸諸国
- 2) 海外における L D I の普及状況 英国・米国など
- 3) なぜ、いま L D I が脚光を浴びているのか
- 4) 従来からの A L M（資産負債管理）とどう違うのか

5) 投資対象と運用商品：長期債、スワップなどのデリバティブ

6) 金利上昇局面でのLDI

7) 具体的な手法 = 特に債務の定義や予測について

8) 年金ガバナンスと LDI = 誰がイニシアチブをとるのか。年金基金の理事か企業の財務部門か

3. まとめ

4. 質疑応答

LDI の日本での展開の可能性につき、貴重なご報告を伺える絶好の機会です。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第2回研究会

日時：平成 18 年（2006 年）7 月 10 日(月) 3 時から 5 時 30 分

場所：朝日生命会議室

（地下鉄大手町駅または JR 東京駅下車、徒歩 5 分）

周辺地図をご参照下さい

パネルディスカッション（別紙 略歴をご参照ください）

テーマ：「**Liability Driven Investment の展開と日本の企業年金における応用可能性**」
パネルディスカッションの概要：Liability Driven Investment（債務に基づく資産運用）の概要と現状について報告いただいた後、特に日本での応用可能性を中心にパネルディスカッションを通じてご報告いただきます。

2. 参加申込

参加希望者のお名前・所属組織名・E - メールアドレス・電話番号に加え、件名を「第2回研究会参加申込」と明記の上、E - メールにて

To : office@jarip.org（日本保険・年金リスク学会事務局 担当：中村）

cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp（同研究会担当：栗山晃）

迄お申込ください。参加申込は7月5日（水）迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて 1,000 円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

以上

(講演参加者のご略歴(アルファベット順))

岡田章昌(おかだ あきまさ)氏/ワトソンワイアット株式会社 インベストメント・コンサルティング・グループ コンサルタント

1994年、一橋大学経済学部卒業後、日本生命保険相互会社入社。融資総務部融資企画グループ、大蔵省財政金融研究所(社外派遣)(現財務省財務総合政策研究所)ニッセイ基礎研究所(出向)を経て、2002年、ワトソンワイアット株式会社入社。当社入社後は、国内年金スポンサー向け資産運用コンサルティングや年金ALM手法の開発に従事するとともに、年金資産運用に関するセミナーの講師を務める。

2003年千葉大学大学院社会科学研究科修士課程修了(経済学修士)。

末吉英範(すえよし ひでのり)氏/野村総合研究所 金融ITイノベーション研究部 主任研究員

2000年、慶應義塾大学理工学研究科修士課程修了

同年4月、野村総合研究所入社

野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー出向を経て、2003年4月より現職資産運用に係る調査・分析・コンサルテーションに従事

多湖 理(たご ただし)氏/リーマン・ブラザーズ証券会社東京支店 債券調査本部 債券インデックス部 シニア・ヴァイス・プレジデント

1987年 東京大学教養学部教養学科卒業後

日本債券信用銀行入行

1992年 国際大学国際経営学研究科 MBA

その後日系証券会社を経て2000年にリーマン・ブラザーズ証券入社。

日本における債券インデックス部門の長として、機関投資家顧客向けに、各種インデックスの開発・情報提供、ポートフォリオ管理に関するアドバイスなどに従事。

臼杵政治(うすき まさはる)氏/ニッセイ基礎研究所 金融研究部門 年金フォーラム上席主任研究員(専修大学経済学部大学院客員教授、中央大学国際会計大学院客員教授、早稲田大学ファイナンス科大学院非常勤講師)商学博士、CFA

1981年 東京大学法学部卒業後日本長期信用銀行入行

同行調査部を経て1993年長銀総合研究所(出向)経済調査部主任研究員

1998年より現職。企業年金を中心に 資産運用業務、 雇用と退職金、 社会保障と公的年金、などの調査を担当。労働政策審議会(勤労者生活分科会中小企業退職金共済部会)委員、企業年金連合会資産運用委員会委員など。

著 書

「会社なき時代の退職金・年金プラン」(東洋経済新報社、単著)等

「選択の時代の社会保障」(東大出版会、共著)他

【朝日生命本社へのアクセス】

〒100-8103 千代田区大手町 2 - 6 - 1
朝日生命大手町ビル

アクセス：JR東京駅八重洲北口改札を出て左に曲がり直進し、日本橋口より2分。または地下鉄大手町駅B6番出口より1分。

